



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30  
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会 長 斎藤 章  
●幹 事 井辺 一章  
●会報委員長 伊藤 松寿



「2011 東京高円寺阿波踊り」 蜘蛛 康介

## 高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会

9 月 15 日(木) 12:30~ 高山グリーンホテル

### <プログラム>

司会進行 高山 RC 幹事 樹下 健志

点 鐘 高山 RC 会長 阪田 俊二

ロータリーソング 奉仕の理想

ゲストの紹介 高山 RC 会長 阪田 俊二  
国際ロータリー第 2630 地区 ガバナー 石井 惣司 様  
国際ロータリー第 2630 地区 代表幹事 竹内 稔 様  
国際ロータリー第 2630 地区 濃飛分区ガバナー補佐 剣田 廣喜 様

地区役員の紹介 高山 RC 会長 阪田 俊二  
国際ロータリー第 2630 地区 直前ガバナー 桑月 心 様  
国際ロータリー第 2630 地区 財務委員長 青山 真琴 様  
国際ロータリー第 2630 地区 環境保全副委員長 新谷 尚樹 様  
国際ロータリー第 2630 地区 青少年育成副委員長 永家 将嗣 様  
国際ロータリー第 2630 地区 広報・情報委員 伊藤 松寿 様  
国際ロータリー第 2630 地区 インターアクト委員 河渡 正暁 様

### 食 事

会長の時間 高山 RC 会長 阪田 俊二

出席報告 各クラブ出席委員長

ニコニコボックス 高山 RC ニコニコ委員

歓迎の挨拶 高山西 RC 会長 斎藤 章

ガバナー紹介 剣田 廣喜ガバナー補佐

ガバナー卓話

謝 辞 高山中央 RC 会長 平林 英一

点 鐘 高山 RC 会長 阪田 俊二

写真撮影 3 RC 合同

### <会長の時間>

高山 RC 会長

阪田 俊二

今回の高山三クラブ  
合同ガバナー公式訪問  
は高山ロータリークラ



ブがホストということで、今年度会長の私 阪田俊二と申します。少しかだけ会長の時間をいただきます。私、職業分類は繊維小売という  
ことで、主に和装品を扱っています。

高山にお住まいの皆様方は時々着物をお召しになると思いますが、男性の場合は着付けはそんなに難しいことではありませんが、女性の場合きれいに着付けるには少し練習をしたほうが良いようです。町のあちこちで着付け教室の看板を目にされることも多いかと思われまますが、少し習ってきものを装うと背筋がのび、立ち居振る舞いが優雅になるものです。日本の伝統文化は着物を装う生活から生まれ、発展しました。衣、食、住、の食、住の分野では茶道、華道といった「道」の文化が生まれましたが、きものの装いもそれらに劣らぬ精神的な文化といえます。

外見をいくら飾っても、思いやる心や人と調和する「和」の心を備えていないと美しく見えません。言い換えれば着付けは「身なり」を正すという習慣に深くかかわっています。

着物の美しさは色彩や柄など簡単に言い尽くせませんが、根本は和の美しさ、和の美と書いての和美だと思います。和美は同音で茶道という侘び、さびの侘びにも通ずるものがあります。お茶を習っていない方でも日本人なら融和の心、つつましい内面の心の美しさを持って一歩控えて周りの人を心地よくする、あるいはおもてなしの心といったものをどこと無く理解できるのではないのでしょうか。

日本は戦後悪しき教育により個人主義、言い換えれば権利を主張して義務は回避しても良いような風潮がまかり通りましたが、先般の東日本大震災で被災された方々が一杯のうどんを何人かで分けて食べたり、辛抱強く順番にならんだり、当然の如く略奪など起こりようがなかったこと、また自衛隊、消防、警察といった方々の献身的な働きなど、日本人がもっている「和」の心、道徳、節度は失われていなかったことが東北の人々によって証明されました。縄文時代から引き継いできた良き DNA のなせる業ではないかと思ます。

石井ガバナーのおっしゃる復興に積極的に取り組まれて、何年かかっても手助けしてゆきたいとの思いは「日本の心」の発露と思ます。

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

# 例会報告

私たちロータリアンは今こそ先頭に立って伝統と文化を尊重し、国や郷土を愛する心を明示し、社会的なルール、物の見方、モラルを身を持って示し奉仕の理想を实践すべきであると考えます。そうして、次の時代を背負う若い人たちに日本人の誇り、日本人の持っている「心の美しさ」「感謝の心」を伝えていかなければと思います。

ご静聴ありがとうございました。

## <出席報告>

高山RC 会員数41名 欠席者 5名 出席率87.8 %  
高山西RC 会員数44名 欠席者 12名 出席率72.73 %  
高山中央RC 会員数49名 欠席者 9名 出席率81.63 %

## <ニコニコBOX>

高山RCニコニコボックス委員

国際ロータリー第2630地区 ガバナー 石井 惣司 様  
国際ロータリー第2630地区 代表幹事 竹内 稔 様  
本日公式訪問に伺いました。宜しくお願ひ致します。

国際ロータリー第2630地区 濃飛分区ガバナー補佐 劔田 廣喜 様  
高山3クラブの皆様、本日はお世話になります。よろしくお願ひいたします。

高山RC会長 阪田 俊二 様  
高山西RC会長 斎藤 章 様  
高山中央RC会長 平林 英一 様

ガバナー 石井惣司様、地区代表幹事 竹内稔様、濃飛分区ガバナー補佐 劔田廣喜様のご来訪を歓迎いたします。宜しくご指導のほどお願ひ申し上げます。

## <歓迎の挨拶>

高山西RC会長 斎藤 章

国際ロータリー第2630地区ガバナー 石井惣司様、同地区代表幹事 竹内稔様、小京都とも呼ばれる風光明媚な高山の地によるこそおいで下さいました。心より歓迎申し上げます。高山中央RCの劔田廣喜様 濃飛分区ガバナー補佐として本日もどうか宜しくお願ひ申し上げます。地区役員の皆様も御出席ありがとうございます。直前ガバナーの高山RCの桑月心様 前年度は本当にご苦労様でした。

高山は人情にあふれ、伝統ある文化を大切に、リピーターも多い観光の町です。筑波大学名誉教授の住斉先生のミトコンドリア分析によりますと、縄文系のDNAをもった飛騨人は68%、弥生系は32%だそうです。首都圏と比較すると逆の比率になるそうです。これらも高山の風情に関係しているのかもしれませんが。弥生時代に比べ、縄文時代は大きな争いもなく、なべて平和だったそうです。先



祖たちは、その豊かな自然に恵まれた反面、代償とも言える非常に激しい自然現象に晒されて生きてきました。地下から海からそして空から山から、おびただしいエネルギーが、日本にそして日本人に降り注ぎ、この地を豊かに育み、同時に活力を生んできたのだとも言えます。今年は大変な災害に見舞われました。時間はかかりますが、日本人の底力で立派に復興できると思います。

また飛騨は一つという言葉もありますが、とりわけこの3ロータリーは一つの思いの中で、昨年度同様本年度も、会員増強のみならず多くの事業を成功裡の内に終えることが期待されています。

石井ガバナー様には、本日も含め引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。合わせて、ますますのご健勝と第2630地区の発展を祈念して、意はつくしませんが歓迎のご挨拶とさせていただきます。

## <ガバナー紹介>

濃飛分区ガバナー補佐  
劔田 廣喜 様

石井ガバナーは良く『ENJOY ROTARY』とおっしゃいます。この『ENJOY ROTARY



～ロータリーを楽しもう～』は1989～90年度、ヒュー・M・アーチャーRI会長のテーマです。ちなみにこの年度、故 門脇俊太ガバナーの元、石井ガバナーは地区副幹事を務めていらっしゃいました。『ENJOY ROTARY』には特に印象が深いのではないかと推察している次第です。もう一つ言わせていただきますと、私の父親もその年度に第五分区代理を務めさせていただいており、非常にご縁があると感じ入っております。

石井ガバナーは、ご自身の34年間のロータリーライフの中で、「楽しみながら奉仕をする事」「職業奉仕」「ロータリーを通じて多の人と出会った事が自分の財産になっている」という3つの事項を強調されています。この3つは全て『ENJOY ROTARY』に通じるものです。

「楽しみながら奉仕をする」はまさに『ENJOY ROTARY』の日本語訳ですし、ロータリーを楽しむためにはロータリーを理解しなければならず、それはまさしく「職業奉仕」を理解することになります。そして、ロータリーを楽しもう、という気持ちがあれば、毎週の例会を欠席するという事はありません。止むを得ず欠席しなければならない状況となった場合にはメーキャップをする事となり、メーキャップをすれば沢山の人の出会いがあり、それが自分の財産になっていきます。

このように、いつもロータリーから多くの事を学べるという姿勢があって、誠実にロータリーを生きていくことがすなわち『ENJOY ROTARY』につながる、石井ガバナーのロータリーライフになっているという事です。

以上を持ちまして石井ガバナーの紹介とさせていただきます。

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

## 例会報告



### <ガバナー卓話> ガバナー 石井 惣司 様

本日は高山 3RC の合同例会（公式訪問）にご出席を下さいますとお礼申し上げます。

平素はロータリー活動にご尽力を賜りお礼申し上げます。

先日の台風 12 号は各地で大きな被害が発生し、亡くなられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災発生から半年程が経過しますが、第 2520 地区、第 2530 地区、第 2820 地区は依然復旧、復興の目途も立たず、特に第 1 原発事故が発生した第 2530 地区は緊迫した状況下にあり、一日も早い回復を心より願うと共に、物心両面に亘り支援をいたしたく思っております。

さて、私 1 月にサンディエゴでの国際協議会に出席し、1 月 17 日「入って学び」で始まり、5 日間の研修を受け、「出でて奉仕」する為帰ってまいりました。

毎日開催された全体会議では R I 会長のテーマ発表を始め、11 名の R I 元会長を始め、関係者のそれぞれのテーマに基づく講演がありました。

カルヤン・パネルジー R I 会長はテーマ

「Reach Within to Embrace Humanity ～こころの中を見つめよう、博愛を広げるために～」と発表され講演されました。

R I 会長はグレン・キンロス元 R I 会長が始めた低コストのシェルター・プロジェクトについて話しました。このプロジェクトがきっかけとなり、インドの第 3260 地区ライプルの RC は、シェルターを 500 軒立て、オーストラリアの RC と現地 RC、そして財団のマッチング・グラントから資金が提供されました。

RC が新聞に広告を出したところ、多数の申込みがあり、抽選で利用者を選びました。その中の当選者の一人アニサ・ベクンという女性はステージで当選した券を受取り、去ろうとせず一言話をさせてほしいと申し出て、自分と家族がライプルに引っ越してきて、仕事もなく大変貧しい生活をし途方に暮れていた時、親切な人がこのシェルター・プロジェクトのことを教えてくれ、ここに来

ることが出来た。そして何千人もの前でこう言いました。「ロータリアンの皆さん、あなた方は私にして下さった事がどんなことかお分かりですか。あなた方は私と子供に新しい人生をくださったのです。本当に本当にありがとうございました。」彼女は人目もはばからず、泣き出しました。話を聞いていた私達ももらい泣きしてしまいました。しかし、その場に居合わせた誰もがあの涙を通じてロータリアンとなったことの真の意味を深く理解することが出来たのです。

あの日以来私は同じ人間である人々に希望と尊厳と自信をもたらすには住むところを提供するのが一番だと信じるようになりました。住むところは家庭の始まる所でありそして、あらゆる家族の中心を成しているのが母と子です。私達の住む地域社会とは単なる個人の集まりではなく、家族と家庭によって築かれています。いい家庭があるからこそいい街ができ、いい地域社会ができそしていい国となってゆきます。ですから私は第 1 の強調事項を「家族」としました。

そして第 2 の強調事項は「継続」です。

私達が一番得意として行っていることを続けることです。安全な水の提供、識字率の向上、新世代を通じて明日のリーダーとなる青少年を育成する活動などです。ポリオ撲滅もあと一歩です。更なる力を注いでゆかねばなりません。そして財団の未来の夢の計画を支援してゆかねばなりません。

発展によって繁栄があり、繁栄があつてこそ平和につながります。私達は小さなことでも心を込めてやれば素晴らしい事を達成出来ます。私達はロータリーの奉仕活動を通じて理想を達成することを重んじています。

倫理感、誠実さ、四つのテストを通じて親睦と友情を築き上げることが出来、人間としての価値を見出すことが出来ます。

そして第 3 の強調事項を「変化」としたのは改善できること、変えるべき事、新しく始めるべきことに目を向けなければなりません。事実を勇気を持って見据え、変えるべき事を見定め行動しなければなりません。私達はロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンになったのはまさにこれに尽きると思います。

マハトマ・ガンジーは言っています。「世界の変化を望むならあなた自身がその変化にならなければなりません」と。すべてのおこないはまず自分自身の中に変化を起こすことが必要です。

ロータリアンの皆さん、自己を省みることにより、人々が皆同じ夢、希望、願望、問題を分かち合っていることを理解していただきたいのです。人に何かを与えようとするならば、まず自分自身に与えることです。なぜなら自ら抱く望みを理解せずして人々の望みを理解することは出来ないからです。即ち何事を行うにも全ては自分自身から始めることだといわれています。心が平和であるならば家庭が平和になり、これをほかの人々と分かち合うことが出来るということです。愛する人、大切な人と一緒にいることの喜びと満足を感じるように私達は他人を大切にすることが出来ます。世界中の明

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

# 例会報告

かりを集めても私達の心の中にひそむ光には及びません。

最後にトルストイの「戦争と平和」の一節を紹介し、その中でロシア遠征でピンチを迎えたナポレオン軍の将校と友人の会話を例に上げ、将校に向かって友人は「勝利をもたらすのは武器だ」と言います。将校は「いや、勝利を決めるのは武器ではない」と反論します。将校は次のように答えます。「勝利を決めるのは僕やこの男の中にある気持、兵士一人ひとりの中にある気持だ」終わりになぜこの話で締めくくろうとしているかと申し上げますと、私は本日はお話の中でロータリアンとはロータリーとはまさに皆さんの心の中の気持、他の人の心の中の気持、私の心の中にある気持こそロータリーではないかということです。

以上、カルヤン・パネルジー会長の講演を紹介いたしました。テーマも講演も人間の原点である「こころ」の問題、そして人としての在り方について、ロータリアンとしてどのような心を持って奉仕活動を行い、社会へ貢献してゆくべきか大変格調の高い講演であったと思います。

このテーマに基づき一年間活動をし「会長賞」「チェンジメーカー賞」へも挑戦していただきたく思います。

そして地区活動を次の様に掲げさせていただきました。

## ロータリーの未来を見据え

### 地区活動目標

#### 1. 会員増強・維持

- ・職業分類の点検と見直し
- ・女性会員を増加させる（会長賞）
- ・若手層の会員（45歳以下）を勧誘する（会長賞）
- ・入会3年未満の会員を対象としたロータリーについての研修

#### 2. 青少年育成の強化

- ・健全育成への取組みを
- ・新RACの提唱

#### 3. R財団への更なる支援

##### ・ポリオ撲滅への努力

全世界のロータリークラブがポリオ撲滅へ向け努力し、現在4ヶ国（パキスタン、インド、ナイジェリア、アフガニスタン）、1606症例まで減少しているが、撲滅宣言まで更なるワクチンの接種を必要としています。寄付にご協力を。

##### ・未来の夢計画への取組み

財団プログラムが新しい制度「未来の夢計画」に2013年7月1日から移行するにあたり、この制度への理解と準備を。

#### 4. 東日本大震災被災地域への支援

- ・ロータリアンとして
- ・クラブとして
- ・地区として

本年はR I会長方針をしっかり受け止め掲げました地区目標を

達成すべく努力してまいります。どうか各クラブ、そして会員の皆様にはよろしくご指導、ご支援下さいますようお願い申し上げます。

## <謝辞>

### 高山中央RC会長

#### 平林 英一

本日 2630 地区ガバナー  
石井惣司様、地区代表幹事  
竹内稔様、濃飛分区ガバナー  
一補佐 稲田広喜様をはじめ



め地区委員会役員をお迎えして公式訪問例会ができましたことを心から感謝申し上げます。

そして石井惣司ガバナーには高山 3 ロータリークラブ合同公式訪問例会にて卓話をいただきありがとうございました。

毎年この時期に100名以上の3ロータリークラブの会員が集まる例会は、緊張はしますが大変意義深い例会だと思います。

会員の増強に関しましても各ロータリークラブそれぞれが努力している姿を知るのもこのときかなと思います。課題はたくさんありますが、今日の有意義なご指導を今後活かしていきたいと思えます。

これからも石井惣司ガバナーは、地区のために大変お忙しいことと存じます。お体には十分留意していただき、ご活躍していただくことを祈念申し上げます。本日のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



こころの中を見つめよう 博愛を広めるために